

# ブラボー！ はやぶさ2

## 宇宙郵趣会 COSMOPEX 2020

日 時：2020年11月27日(金)～29日(日)  
10:30～17:00

場 所：切手の博物館（東京・目白）3階スペース1・2

主 催：JPS登録団体 宇宙郵趣会コスモス

### 展 示 品 説 明

#### 「おおすみ」から「はやぶさ2」まで（杉山貴久） 1フレーム

1970年2月11日、日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功してから、今年で50年になります。そして、今年末には2014年12月3日に打ち上げられた「はやぶさ2」が6年ぶりに、小惑星「リュウグウ」の土壌サンプルを持って地球に帰ってきます。日本の宇宙開発を象徴するこの2つの出来事を迎えた時期に、日本および各国で発行された日本のロケット、人工衛星、探査機を描く切手を通して、日本の宇宙開発が歩んできた足跡を振り返ってみます。

#### 米・ソ・日の初の女性宇宙飛行士（井黒春樹） 1フレーム

アメリカ初の女性宇宙飛行士サリー・ライド、旧ソ連初の女性宇宙飛行士テレシコワ、そして日本初の女性宇宙飛行士である向井千秋さんを、切手を通して振り返ります。

#### アメリカ有人宇宙開発～月面着陸50周年～（豊田 謙）2フレーム

2019年はアポロ11号の人類初月面着陸から50周年を迎えました。宇宙開発で、当初ソ連に遅れを取っていたアメリカがこの偉業を成し遂げ、その後発展させた20世紀の有人宇宙開発について宇宙飛行カバーなどアメリカの郵趣マテリアルを中心に紹介します。

#### 『人類月に立つ』（人類月到達への道）（古村義雄） 1フレーム

人類が宇宙に憧れ、1960年代から米ソ（現在のロシア）の両大国で宇宙開発競争が始まる。アメリカのケネディ大統領は「10年以内に人類を月に着陸させ、帰還させる『アポロ計画』」を1961年の上下両院合同会議で演説した。『アポロ計画』は人類が初めて有人宇宙船に搭乗して地球以外の天体に到達した宇宙開発史において画期的な事業であり、科学技術の偉大な業績といえる。この『アポロ計画』の実行内容について、アポロ11号を中心に紹介する。

#### 宇宙の夢アニメ（古村義雄） 1フレーム

古代から夜空に輝く月や無数の星と星座は、宇宙への憧れとなり、多くの神話や物語を創造してきた。この神話や物語など、宇宙を題材とした数々のアニメ作品がテレビや雑誌で取り上げられるようになり、子供たちに大きな夢と希望を与えている。「空を自由に飛ぶ主人公や時空（過去・現在・未来）を超えたSF等」日本のアニメ作品を主体に、子供さん方に楽しみながら宇宙に興味を持っていただければと思います。

## ジュール・ヴェルヌの世界 (今井 徹)

1 フレーム

当時、今でも通じるような科学知識を処々に盛り込み、今でも夢を与える沢山のSF小説を書き残したジュール・ヴェルヌの作品の一部を紹介し、最後に同じく夢を与えたウォルト・ディズニーのキャラクターによるジュール・ヴェルヌの世界を載せる。

## 宇宙の旅人 ハレー彗星 (今井 徹)

2 フレーム

ハレー彗星は、エドモンド・ハレーが1682年に出現した彗星を観測したところ、1531年及び1607年に観測された彗星の軌道がほぼ同じで、同じ彗星が回帰したものと結論づけ、この彗星が再び出現することを予言した。直近の出現は、1986年2月9日で、次回ハレー彗星の地球接近は、2061年夏だとのことである。そこで、エドモンド・ハレーと彗星の記録とそれにまつわるエピソードを挙げてみた。

## 星座ものがたり (中尾トミ子)

2 フレーム

1922年にローマで開催された国際天文学連合 (IAU) の設立総会で、現在の88星座の名前と略語が定められました。1928年の第3回総会でウジェーヌ・デルボルトが検討した各星座の境界線が採択されたことにより、現在使われている88の星座が確立され、この88星座は「トレミーの48星座」をベースに近世に考案された新たな星座を加えることで成立しました。すべての星座は赤経・赤緯の線に沿った境界線で区切られています。このため、あらゆる太陽系外の天体は必ずどれか一つの星座に属することになります。

## コスモロジー (宇宙観) (加藤和宏)

1 フレーム

作品「人類と宇宙」、「人類と宇宙II」に新たな視点とマテリアルを加え、五千年の宇宙に対する人間の意識 (コスモロジー) の変遷を、星座の発明から古代哲学者の問い、太陽神信仰、天動説、革命的な宇宙観、天文学の発展、宇宙開発、アーサー・C・クラークなど地球外知的生命体の探査まで、ダイジェスト版として1フレームに要約しました。

## 日本人宇宙飛行士の活躍 (加藤和宏)

1 フレーム

ソユーズ宇宙船やスペースシャトルに塔乗し、外国人宇宙飛行士に交じって、あこがれの宇宙へ飛び出した日本人宇宙飛行士たちを紹介します。宇宙へ行くのは夢物語ではありません。今後も新しい日本人宇宙飛行士が誕生し、宇宙における国際協力の中で重要な役割を担うことでしょう。

## 通信衛星打上げカバー (三浦正悦)

1 フレーム

通信衛星に関する切手は、それなりに発行されている。ここで紹介するカバーは、通信衛星が打ち上げられた時に、適当なカシエを描き、打ち上げられた場所の郵便局の消印を押印したりして作ったカバーである。こうしたカバーの作成は、宇宙郵趣に特有の楽しみ方かもしれない。描かれたカシエで、どの様な通信衛星が打ち上げられたのかを知ることができる。この種のカバー収集の醍醐味がある。もっとも一部のカバーでは、簡単なゴム印だけであつたりするので、寂しさもある。

## 英国、マン島の宇宙関係切手 (池原郁夫)

1 フレーム

イギリスは古くは18世紀初頭にアイザック・ニュートンを、そして2018年に惜しまれながらこの世を去った理論的宇宙論を展開したスティブン・ホーキング博士を輩出した国です。今回は、英本国と英国離島 (マン島) の宇宙関係の切手を展示しました。

## 日本のロケット開発 (加藤和宏)

5フレーム

わが国の宇宙開発を支えてきた「国産ロケット開発」の歩みを、切手や消印、実郵便などの郵趣品を中心に、メンコや双六、シール、バッジ、切符、新聞、雑誌、各種カードなどの非郵趣品も加えて語らせました。湯川秀樹の直筆はがきや色紙、糸川英夫の米国ロケット協会会員証、英文名刺、実通はがき、宇宙への夢を書いた色紙などが見どころ。

## 宇宙開発の進化 (中尾謹三)

5フレーム

ガリレオが初めて望遠鏡を発明してから400年余り、宇宙の謎の解明が始まり、今では人工衛星、国際宇宙ステーション、惑星探査活動等、宇宙開発の発展は限りなく広がっています。米ソ冷戦時代、人工衛星、宇宙空間への進出、月面探査等、凌ぎを削った米ソの競争時代から、新たな国際協調時代を迎え、1998年に15か国が参加する国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙での建設が始まり2011年7月に完成。宇宙での日本の活躍が報じられる一方、最近では列強国が宇宙軍創設を発表する等、宇宙を取り巻く情勢は大きく変化しつつあります。人類の夢を求め進化する「宇宙開発の進化」を展示しました。

## ブラボー！はやぶさ2 (宇宙郵趣会)

2フレーム

2014年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」は、1302日間の宇宙航海を経て、2018年6月27日に小惑星「リュウグウ」に到着。約1年半にわたって「リュウグウ」に滞在して様々な観測や実証試験を行いました。2019年11月13日、「リュウグウ」から出発して地球に向かう帰路につきました。帰還カプセルが戻ってくるのは2020年12月6日の予定です。その間の出来事をJAXAステッカーや私製絵ハガキ、記念カバーなどで振り返ってみました。

## 作ろう！マイリーフ 宇宙切手アルバム (宇宙郵趣会) 1フレーム

切手の集め方は自由ですが、アルバムリーフに整理された自分の収集品を友人や同好者に見てもらうことで、一人では味わえなかった喜びや援助を得ることもできます。あなたもマイリーフ・宇宙切手アルバム作りを始めてみませんか。

## 宇宙切手ベスト50！ (加藤和宏)

1フレーム

『郵趣』2015年12月号(日本郵趣協会発行)の特集記事『宇宙切手ベスト50！』作成のため、会員アンケートにより410種に及ぶ推薦の中から選出された宇宙開発、天文、空想科学の切手を紹介します。世界中の注目を集めた宇宙飛行士の活躍や人工衛星、月・惑星探査など、時代を飾った切手をお楽しみください。

## アルバムリーフに見る宇宙切手展の歩み (宇宙郵趣会) 1フレーム

本会は旧宇宙切手例会からの会報発行を引き継ぎ1972年6月に設立しました。その後、会の名称は変わりましたが、節目のたびに「宇宙切手展」の開催や記念特集号の発行など、宇宙・天文切手収集の楽しみを広く普及してきました。そうした活動をアルバムリーフで紹介します。

## テーブル展示品 宇宙切手をモチーフにしたアクセサリやグッズを紹介

### 【宇宙郵趣会コスモス】

◎代表世話人：加藤 和宏 〒239-0813 横須賀市鴨居2-42-3 kocosmos@live.jp

◎会報編集者：長谷 寛悦

(会報「コスモス」年6回発行 年会費2000円 申込みは世話人まで)